議　　長　受付番号第７号、平野由里子君の一般質問を許します。登壇願います。

１　番　平　野　お許しをいただいたので質問をさせていただきます。受付番号第７番、質問議員、第１番　平野由里子です。件名、町の玄関、新松田駅で「おもてなし」を！

要旨、新松田駅北口について、トイレや休む場所がないなど、これまでも先輩議員の方々が一般質問に挙げてくださいました。おかげでコスモス館に休憩用の椅子がつくられたり、ロマンス通りにお休み処ができたりと、改善された部分もあります。しかし両施設は常時開いているわけではなく、また開いていても休憩に使えることが周知されていないように思います。

また最近、ＪＲ松田駅南口の前に若者が群れていることが多々あり、周辺住民の悩みの種になっており、通行客も眉をひそめている事態です。

「おもてなし」を掲げる松田町にとって、利用客の利便性と風紀的な問題は喫緊の問題だと思いますが、町の認識と対応をお聞かせください。

町　　長　それでは平野議員の御質問にお答えをさせていただきます。まず１つ目に両施設は常時開いているわけではなく、また開いていても休憩に使えることの周知が足りないように思いますという件につきましてお答えをさせていただきます。現在、コスモス館は松田地産地消の会の約40名の会員さんが地元の産品を販売をし、新鮮で安いと地域から喜ばれており、８月からは休憩施設等を設置し、営業時間内であればどなたでも自由に休めるようになりました。また営業時間につきましては土・日・祝日が休み。４月から９月までは９時半から午後４時30分までと、10月から３月までは午後４時までと営業をされており、桜まつり等期間中におきましては無休となっております。

営業時間の枠を拡大することにつきましては、以前より相談をさせていただいておりまして、先月11日にも地産地消の会の皆様方と協議を行い、採算性の問題もあり難しいということをお伺いをさせていただきました。町といたしましては、おもてなしの座談会においても、町民の方々からの要望も多いことから、現在の会員の皆様方に負担をかけるのではなく、新たに町民の要望に応えることができる可能な職種の会員さんを募集をかけたり、品ぞろえを拡充する等の会員同士でお話をされたらというふうにお話をした中で、採算性の克服や

午後４時以降の販売にも乗り出してはいかがかと御提案をさせていただいたところ、現会員の皆様方の一部からはですね、その提案について前向きに検討する旨のことをですね、感じ取ったとこでもございますので、今後も新たな発想での対応をしていただける松田地産地消の会の方々と協議を重ねて、町民の方々の要望に応えられるよう、営業時間の枠の拡大による休憩所、またトイレ等々のですね、確保につきまして、町民サービスの向上に取り組んでいただけるよう我々も取り組んでまいりたいというふうに考えております。

またロマンス通りの「お休み処新松田」につきましても改めて御説明をさせていただきます。「広報まつだ」６月号に掲載をさせていただきましたとおり、６月２日にオープンをし、９月末までで新松田自治会の自主活動を含め72日の開所、実10人の方の介護支援ボランティアの方が活動をしていただき、延べ730名余りの方々に御利用いただいております。「お休み処新松田」は高齢者を主体に、年齢・障害を問わず地域の皆さんが誰でも立ち寄れる場所として開設をいたしました。「お休み処新松田」は新松田自治会の御協力を得て、地域の皆さんで場所の管理、運営を行い、地域の皆さんと町、関係機関が協働して活動展開をしておるところでございます。地域の皆さんの作品展示も行われ、町のおもてなしの趣旨にもかなった場所でもございます。現在平日の午前・午後の開所になりますが、利用者が御自身のスタイルでお過ごししていただくことが可能でございます。休憩目的でお立ち寄りも歓迎しております。ただ、開設のときの目的に沿った御利用形態とするため、今後はボランティアで携わる皆さんの御負担のない範囲での開所となっておりますことを、広くＰＲをし、また御理解をいただけるように我々も努めてまいりたいというふうに思っております。なお木曜日には手芸など小物づくりも行っているということでございますので、皆様もぜひ立ち寄っていただきたいというふうに考えております。

続きましてＪＲ松田駅南口前の若者についてということでございます。町で10月７日に近隣の方にお伺いをさせていただきました。オートバイに乗った若者たちが夕方の３時、また夜の８時ごろにですね、多いときには５人程度。ＪＲ松田駅南口広場に集まって、またその行動といたしましては、ごみを置くなどのマナー違反があったというふうなことでございます。町からは松田署に状

況を説明させていただき、新松田駅前のパトロールの強化をお願いをさせていただきました。また同日、近所の方も新松田駅前交番の警官の方に直接お話しをさせていただきました。またＪＲ松田駅の駅員の方に、若者たちのことに関しまして確認をさせていただきましたところ、お客様からの苦情は今のところはなく、駅員さんから見てもオートバイの駐車位置により、駅利用者の方々が脇を通り抜ける場合がありますが、特段それ以外に問題がないというふうな回答をいただいております。

今後町民また駅利用者の方々が御懸念されているようなことにならないように、また次世代を担う若者たちがルール違反行為をすることがないよう見守りをするために、この12月でありますけれども、12月の８日、15日、22日の３時半から、松田署と町と合同でＪＲ駅南口広場前において、若者たちの思いを確認をしながら声かけ、パトロール等々をですね、実施してまいる予定でございます。また町といたしましては、「広報まつだ」10月号にも掲載させていただきましたとおり、町民一人ひとりが町外からの来町していただいた方々だけでなく、隣近所といった町内での方々とのコミュニケーション、家族に対しておもてなしの心で接していただければというふうに考えて、今後も町民の方々のですね、安心・安全なまちづくりの推進に取り組んでまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

１　番　平　　野　　ありがとうございます。私も何度か駅前の方たちとお話をしに行っているんですけれども、駅のほうからはね、何か苦情が上がらないと、特に問題はないというような回答だったという話なんですけれども、やはりお住まいの地域の方は、かなりもっとひどいことをおっしゃっていました。本当にごみを散らかすだけではなくて、最近は寒くなったのでそんなに地べたに寝るということはないそうなんですが、暖かい時期にはあそこに寝っ転がったりとか、それからちょっと壁に向かって放尿したりとか、そういうようなこともあったと伺っております。本当にＪＲを使うお客様はちょっと通るだけなので、避けて通れば済むことなので一々言わないだけなのかもわからないんですけれども、やはりそれは本当に町の玄関である駅前にそういうことというのは、やっぱりちょっと放置しておいてはまずいんではないかというふうに思いました。

先ほど齋藤議員のほうで駅前のね、整備計画の非常に大きなお話を、質問をされていたので、私も何回かこの駅前の計画に関してはいろんな先輩議員の質問がありまして、やはり全体の青写真を待ってからというようなお答えがいつもされていたと記憶しております。それは私も、やはりさすがに大きな計画をしないとちゃんとした小さいところまでは行き渡らないというのは理解しておりますけれども、やはりそれまでにはかなりの時間がかかることだと思うんですね。それまで放置していい問題なのかというと、とてもそれはまずいだろうと私は思っております。この風紀的なことと、それから休憩所がないという利便性のことと、ちょっと私は一遍にこうやって挙げてしまったんですけれども、これをばらばらの問題として捉えるのではなく、やはり駅前の環境の問題として総合的に考えていかなくてはいけない話ではないかなと思っているんですね。

休憩所の件に関しましては、確かにコスモス館の方にも、休憩されていく方がいるっていうふうにやっぱり何回か聞いて、やっぱり便利に思って使ってくださる方もふえてるんだなとは思うんですけれども、私が見た光景では、お店が開いている、コスモス館が開いている時間だったんですけれども、バスの案内板の土台のところに座られてる方がいたんですね。しかもそれちょっと小雨の日で、普通の土台のとこだと濡れてしまうんですけど、ちょうどその新松田の駅舎の屋根が少し出ているようなとこで、ぎりぎり濡れるか濡れないかのところにある土台のとこに座られてるお年寄りがいたんですね。それを見てるとやっぱり多少濡れてもいいから座りたいという、そういうのがもうありありと感じられまして、これは本当にこんな状態でバスの土台のところ座ってられる方がいる状態でおもてなしっていうのを掲げるというのはどうなんだろうとちょっと思った次第です。

それからあと、コスモス館が開いてる時間がそうで、それであと夕方コスモス館も閉まって、それから駅前の喫茶店なんかもちょっと閉まり始めてきて、そうするとシャッターを降ろすお店があって、そのまた土台というのかな、お店のちょっと一段高くなったところに座ってる方もいられるんですね、バスを待ってる間に。もう本当にそれを見てると、ちょっと何か心が痛くなるというか、本当にこれは何とかすぐにでもしなきゃいけない問題ではないかと。本当

に大きな計画を待っていられないんじゃないかというふうに私は思った次第なんです。その辺のことに関しては、どういう姿勢でお考えですか。

参事兼観光経済課長　それではまずベンチの件。駅前のベンチにつきましては、ＪＲ駅長のほうに確認をいたしました。大分踏切のほう、ちょっとした社があるところとか、５点ぐらい場所を確認しまして、あとは駅をおりてすぐに売店があるんですけれども、売店横等一応確認させて、現地でここでどうだという話を何とか駅をおりた方もそうですけれども、住民の方もいろいろと要望もあるという話でお話ししましたんですけれども。まず、結果的には断られたんですけれども、その理由としては、まずそのベンチ自体がそこにあることによって、ベンチを投げ入れられると、線路のほうに。それではチェーンか何かでつなぐとか、コンクリート製のもの、重いものを置くからという話もしたんですけれども、結局それ断られまして、あとは先ほど濡れるかそこらというところにも考えたんですね。そうしましたら、バスや何かの切り返しのときに、それがかえって危ないことになってしまうと。座っていて足でも前が出たときにつぶしてしまうおそれがあるんで、申しわけないですけれどもという形で断られました。

そして今考えておりますのが、ベンチにつきましては実は一昨日、30日になりますけれども、11月30日に商工会のほうからも、何度かやっているんですけども、今回理事会がございまして、大勢の理事の方が出ていらっしゃいました。そのときに、できたら商店街の自分たちの軒先にね、確かに今現在見てもらうと、道路ぎりぎり、道路上に出すことは不可能です。軒先でできるところがあれば、そこの商店の方にも御相談してくれないかという申し出をしました。トイレにつきましても、現在やってるのコスモス館とあと町の駅は年中無休でやっております。そこはトイレを利用できるという話でしたけれども、確かに行ってみても看板が小さい。それを私のほうでも確認しましたので、大きい看板に何とかしてくれという話をしておきましたので、これも商工振興会のほうではしてもらえるという話になっております。

それと、桜まつり期間中につきましてトイレについてなんですけれども、町中トイレという形で９カ所ですね、善意ある方々の商店の方によってトイレを使えると。ただし桜まつり期間中だけですよという話がありましたので、それ

も商工会を通じて通年できないかという話を協議してございます。そうしましたら、たまたま焼き肉の大松園の方が商工振興会の会長でもあられまして、うちのほうはいいですよと。桜まつりに限らず１年間通してトイレ皆さんに提供いたしましょうと。じゃあうちのほうで看板大きいのつけさせてもらうけどいいですかねって言ったら、大松園という文字は消しちゃまずいけれども、その程度のものであればやりますよと。その件についてもほかの、今、先ほど９店舗町中トイレやってますけれども、そこの方々にも一応お話はしていただけるという話になっております。

そのような状況で、できる限り町中の中でも、軒先でも結構ですから置いていただけるところ。ただし安全上の確保が第一。置いてかえって車でひかれたとかってことになりますと、当然私ども町でもお願いした手前、また商店でも置いていてけががあってはいけませんので、そこら辺は考えながらやっていきたいなというふうに考えてございます。

そしてあと、コスモス館の周知の徹底なんですけれども、私のほうでは「お知らせ号」のほうで８月１日に１回、お休み処を開設しましたよという話の御通知は載せてあるんですけれども、今後もまたそれと同時にいろんなところの方面にそこにあるよという周知と表には大きい看板、なるべく大きい看板で、御自由にという形のものもやっていきたいなというふうに考えております。以上でございます。

１　番　平　　野　　思ったよりも具体的に進んでいられるようで少し安心しました。私もちょっとその新松田側と相談したときに、ベンチを投げられるおそれがあるというふうな答えをちょっと伺ったときには、ちょっとびっくりしてしまったんですけれども。いろんな形のベンチがあって、備えつけというのかな、もう地べたにくっつけちゃってるようなベンチだって考えられるのに、何かちょっとはぐらかされてるのかなっていうような気がちょっとしないでもなかったんですね。なので駅に対してはやはり要望は続けていってほしいなというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

あと、このベンチの問題と、それから風紀上の問題と、やはり総合的に考えていくというそのことなんですけれども。やはりこの関係者が話し合う場があ

るといいなと思ったんですが、先ほどもやはり齋藤議員の質問のところで、駅周辺のまちづくりの協議会を立ちあげるというお話がありましたが、この協議会ではこういったちょっと些細な問題とされるようなものは余り扱わないんでしょうか。

まちづくり課長　これはですね…これはですねって失礼なんですが、この協議会につきましてはですね、一応目的がございます。１つは駅の、駅周辺の整備に向けてですね、基本方針、基本構想を３年以内につくっていこうという目的を持って設立してございます。ただですね、その中でいろいろな方面の方、関係機関の方に参加していただいてます。その中にですね、やはり町民の方、また駅利用者の方の意見も聞いていく機会を設けてございますので、やはりそういった中でですね、利用者の方の意見等を聞きながらですね、やはりそういう施設が必要なのか。また必要であるといった場合にですね、どうやった整備が必要なのかということもその協議会の中で、またその下にですね、ワーキング部会といって分科会を幾つか設けていきたいというふうにも考えておりますので、そういった中でですね、皆さんの御意見をお伺いしていこうというふうに考えております。以上です。

１　番　平　　野　協議会がね、とても大きなお話のための協議会というふうにね、最初は思っていたので、こういう本当に身の回りのことを扱ってくれるというふうに聞いて、少し安心いたしました。やはり風紀的な問題、それから休憩所の問題、やっぱり使っている人、それから歩いている人が一番気がつく問題だと思いますのでね、ぜひやっぱりこの図面の話だけではなくて、そういう意見も取り上げて、本当に今すぐできるようなことは、なるべくやっていくというようなことで話を進めていただきたいなというふうに思っております。

ついでなんですけれども、ＪＲの南口に関しては、やっぱりＪＲのあれは持ち物だというふうに聞いておりますので、なかなか難しい点もあるかなと思うんですけれども、あそこにベンチが置ければ一番ちょっとした広場的に、ポケットパーク的に使えないかなと私は思ったんですね。本当にそれはＪＲとの話を進めるしかないんですけれども。例えばベンチとそれからあの一帯が暗いというのがすごく問題だと思うんで、その暗くて死角になりやすいというのがす

ごく問題だと思うので、ベンチと街灯が一体になってるようなストリートファニチャーっていうんですかね、そういうものを例えば公募するとか、コンテストをするとか、何かそういうようなちょっと人の目が集まるようなイベントみたいなことを組めば、注目が集まれば死角というのがだんだんだんだんなくなるのかなというような気がしますので、何かそういったアイデアに関してちょっと検討してみようというふうには思われませんか。

参事兼観光経済課長　そこら辺ですね、ＪＲの南口につきましては、ちょうど小田急線とのスペース的に非常に狭い所でございます。そこら辺を検討した中で、ただ議員おっしゃられるように、何らかの休み場所は欲しいところでは私どももございますので、それについてはＪＲと協議する。またうちのほうでもそのようなものがあるというお話を承りましたのでね、そこら辺に向けての、置けるかどうか。防犯上の問題とあと休憩どころという形で、それ対応してまいりたいと思ってます。どうもありがとうございます。

１　番　平　　野　　ぜひ前向きに考えていただければなと思います。というのは、この風紀上の問題が初めてのことではないようで、何年か前もかなり活発に集まりがあったという時期があるらしいんですね。私ちょっとそのときに余り気がつかなかったんですが、今回近所の方と話していたら、実は何年か前にもありましたっていう話を聞きまして、そのとき初めてＪＲの南口の…南口じゃない、ＪＲの北口だね、違う南口。南口の出てすぐの右側のところに、不思議な装飾物があるんです。ちょうど壁のところからこんな感じで茶色いこういう細工がこうやってしてあって、その下がどうも花壇に見えたんですが、花壇では今はなくて、もう花もなくて、そこに石がぽこんぽこんぽこんとコンクリートで埋められて石が出ている。オブジェ的に出ているっていう、その一画にそういうことになっているんですね。私、時々ＪＲを使うときに、何だろうなって思いながら、でも急いでるからぱぱぱって通ってたんですけれども、それを、その話を聞いた方が、実はあの飾りは何年か前にちょっと問題が起きたときに、そこにすごく座ってたむろしていたので、防止のために座れなくするためにＪＲとしては苦肉の策だったということを初めて伺ったんですよ。ＪＲ側にもそうなんですかって聞いたら、もう担当の方がかわっていたのでちょっと詳しくはわからな

いけど、そうだったようなことは言ってますぐらいのお答えしかちょっともらえなかったんですが。やっぱりＪＲ側としても悩んで、苦肉の策だったんだろうなというふうに思うんですね。やっぱり何かが起きたときに地域で話すということを、やっぱりちょっと風通しをよくしていかないと、やはり双方困る。双方というか、双方だけじゃないですよね。町と駅と住んでる方とっていう、もう本当にみんなが困ってしまうというのがあるので、何か起きたときに声が上げやすいというような、常に連絡するような関係を持っていればなというふうに私は思ったんですが。そういう連絡体制に関しては何かございますか。

安全防災担当課長　ただいま御質問いただきましたですね、いろんな防犯に関する連絡体制ということで、いろいろなまちづくりのいろいろな話し合い等がされている中で、我々もそれを聞いてますので、今までそういうような団体がなかったということで、昨年度初めてボランティアの方を来ていただきまして、１回目のそういうようないろいろな研修等を実施させていただいた経過もありますので、また今度そういう方を中心に、またいろいろな庁内の中で相談をさせていただきながら、そういう方たちのグループをつくらせていただいて、またいろいろな形の意見交換をさせていただきながら、また先ほど御意見いただきました点についても、何かまた町とは違ったいい考えがあるかどうか等もお伺いしながら、そういう組織づくりを進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。以上です。

１　番　平　　野　そのあたりはいろんな方面と常に連絡がとりやすいような関係を築いていっていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。やはり今回町長が打ち出したこのおもてなしというね、これ私本当にすばらしいことだなと思っているんですけれども。やっぱり町の玄関であるこの駅というのが、やっぱり第一印象、駅でおりた人にとっては本当にがっかりするようなことになってしまわないように。新松田駅というのはやっぱり通勤型だと思うので、なかなか駅の中にベンチを置くという発想がないのかもしれないんですが、新松田駅を起点としているバスは、本数がたくさんあるバスはいいけれども、そうじゃないバスも結構あるので、やっぱり絶対に待たなきゃいけない人が出現するのがわかりますし、それからＪＲに関しても、日中かなり本数が少ないというとこ

ろで、やはり待ってる人というのがかなりいると。その待ってる人に関しては、寄の方はやっぱり町民だし、ＪＲの方はもしかしたら町民じゃない方も結構多いのかもしれないんですけれども、でもやっぱり町民であるなしにかかわらず、新松田駅を日ごろ利用してくださる方にとっては、この町の駅をいつも使っているわけで、この町の駅が使いにくいとか、あそこは椅子がなくて疲れちゃうんだよねとか、あと何かちょっとよくない人がたむろしてるんだよねみたいなうわさが広まってしまえば、その駅でおりる用事を減らそうと思うような人が出てきてもおかしくないわけで、本当にそれはおもてなしの政策にとって非常に大きな差し障りになってしまうことだと思いますので、そのあたりのことをぜひ大きな計画の、時間がかかるような、あるいは予算がすごくかかるような計画とはまたちょっと違う、質の違う問題だと思いますので、ぜひこれはやれることから早急にやっていただきたいなと思います。最後に町長、そのあたりの具体的なもし返答が伺えればと思いますが、いかがでしょうか。

町　　長　御質問ありがとうございます。おもてなし宣言をさせていただいて、いろんな御議論もあろうかというのはもう覚悟の上でやってるとこでございます。ただ、今、平野議員が言われたように、それを打ち出したことによって、やらなきゃいけないことが明確になった。そこの部分に対しては私は宣言をした意味があったのではなかろうかと思っております。本当にこの松田町は交通の結節点ということで歴史がある場所にもかかわらず、どんどん人が減ってきてる。どういうことかと。おもてなしは松田町の歴史じゃないかというふうに私はそう感じてるとこでございますので、そういった点で松田町だからこそできること。駅が顔であるということも、先ほど来よく私も認識をしておりますので、今担当課の課長の答弁のように日々努力もし、また先輩議員ということでお話ありましたけども、以前にも議員の方々にも足を運んでいただいて、いろんな場所の交渉等々もしていただいたという経緯もありますので、その辺もまた定点観測しながらまた改めてやっていきたい。今ある商店街の方々にも、そういった御要望もある部分に対して、じゃあできることはまたないですかねと。主張だけではなく、その方々にもお願いをする、また役割があるのではなかろうかということも、我々も一緒になってやっていきたいというふうに考えており

ますので、今平野議員から御提案いただいたことについても、また平野議員とまたほかの議員の方々と一緒になってやっていけたらなというように思ってますので。ということでございます。以上です。

議　　長　よろしいですか。以上で受付番号第７号、平野由里子君の一般質問を終わります。

以上で本日予定しました日程のすべてが終了しました。本日の会議はこれにて散会といたします。なお、あす午前９時より本会議を開きますので、定刻までに御参集くださるようお願いいたします。本日は御苦労さまでした。

（15時52分）